



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1135

15.12.2024 (135)

悪の天才の教育

ゲルハルト・ラウク著

パート1

はじめに

かつて『リーダーズ・ダイジェスト』誌は私を邪悪な天才と呼んだ！

この記事を最初に読んだとき、私は爆笑した。愉快だった。しかし、本当に腹が立ったのはこれだ：著者はいたって真面目なのだ！

奇妙なことに、別の雑誌『デア・シュピーゲル』は、私が模範的な市民であるという町長の言葉を引用した！

悪の天才か、模範的市民か。

この質問に対する答えは、誰に尋ねるかによる。他の人たちと同じように、私にも友人と敵がいる。普通の人とは違って、私の敵は時々私を殺そうとする！

私がテロ裁判で証言したとき、暗殺未遂の可能性を懸念して警察が警備を強化したこともあった。

私は米国を拠点とする民間組織のディレクターだった。冷戦時代も冷戦後も、ヨーロッパの非暴力地下反体制派に多大な支援をしてきた。

私の仕事の重要性は多くの政府文書で認められており、その中には欧州

の関係者が署名した3人の米大統領閣僚、大統領執務室、FBIとCIAの両長官宛ての書簡も含まれている。

私の活動はメディアでも大きく取り上げられた。

これには、『CBS Sixty Minutes』、『ABC-Frontline』、『O Globo』（ブラジル）、『KRO』（オランダ）、ハンガリー国営テレビ、『Spiegel TV』（ドイツ）などのテレビ・インタビューが含まれる。インタビューを受けずに私の仕事を報じた番組ももっと多い。

私はスウェーデンのテレビドキュメンタリー『Wahrheit macht frei』で大きく取り上げられている！この映画は12カ国で放映された。

紙媒体では、英国版『リーダーズ・ダイジェスト』誌の長文インタビュー（タイトルは『Evil Genius of Germany's Neo-Nazis』）、『ロサンゼルス・タイムズ』紙、『ハンブルガー・モルゲンポスト』紙、『オマハ・ワールド・ヘラルド』紙、『リンカーン・ジャーナルスター』紙の一面記事などがある。

私の活動に関する追加記事は以下の新聞に掲載されている：シカゴ・トリビューン』紙、『ニューヨーク・タイムズ』紙、『ワシントン・ポスト』紙、『ダラス・モーニング・スター』紙、『バッファロー・ニュース』紙、『スポットライト』紙、『タイムズ』紙（英国）、『スペクトラム』紙（英国）、『ニュース・ヘラルド』紙、『インディペンデント』紙（英国）、『モルゲンポステン・フィエンス・シュティフトシュティデン』紙（デンマーク）、『フランクフルター・アルゲマイナー・ツァイトウング』紙、『デア・シュピーゲル』紙、『ディ・ヴェルト・アム・ゾントーク』紙、『ベルリナー・モルゲンポスト』紙、『スュードイツ・ツァイトウング』紙、『ディ・ターゲスツァイトウング』紙、『デア・ターゲシュピーゲル』紙、『ベルリナー・ツァイトウング』紙、『オッフェンバッハ・ポスト』紙。

半ダースの言語で書かれた17冊の本の中で、私の名前が挙げられている。その中には、私の仕事について1章以上を割いているものもある。

私のビジネスキャリアはその後に始まった。

私が会社史上最高のテストの点数を取ったとき、自営業の大富豪の社長は感激して、その場で私を採用した。彼は私を個人的に教育した。私は彼のマーケティング担当副社長になった。このトレーニングと経験が、私のビジネス知識の基礎となっている。

私は起業家でもあった。数ヶ国語による数百冊の本の出版、輸出入、eコマース・ウェブサイト（グーグルで1位を獲得）、ウェブ・ホスティングなどだ。全米トップ3のインターネット・サーバーの1つから、私がウェブサイト再販業者のトップ10に入ったと報告されたこともある。

この回顧録には、政治活動家と実業家としての私のキャリアが綴られている。

それぞれのキャリアが私に新しいことを教えてくれた。私はその知識を次のキャリアに生かした。多様な分野でのこの経験は、教育であり娯楽でもあった。私は学び、そして笑った。

それ以上に、私には市民の義務がある。私が小学生だった頃、私たちはまだアメリカ合衆国の国旗と、それが象徴する共和国に忠誠を誓っていた。毎日。

今日、いわゆる「テロとの戦い」は、合衆国憲法を弱体化させる口実として使われている。9.11以前の私自身の経験から、当時でさえも危険な前例があることがわかった。

我々はこの共通の脅威に立ち向かうために協力しなければならない。政治的な違いに関係なく。これが、私が本書をイデオロギー的な放言として書かなかった理由のひとつである。

ゲルハルト・ラウク

2014年1月30日

第一章 私の青春

君はエンジニアの息子なんだね！

厩舎を視察した友人
廃材を使って彼のために作ったんだ。

構想か建設か？

ロマンチックな月夜のことだった。私たちの寝室は、遊びに来ていたおじいちゃんとおばあちゃんに譲った。避妊具が置いてあったから、迷惑をかけたくなかったんだ。私たちはもう子供は欲しくなかった。でも、“一度だけ”なら問題ないだろうと思ったんだ。でも、私たちは間違っていた！

私の母

君は生まれたんじゃない！研究所で作られたんだ。怪物の体、ノルウェーのスキーヤーの足、ナチスの戦犯の頭を縫い合わせたんだ。

私の父

どっちが本当なのか分からない。私は若すぎて覚えていない。

私の子供時代

私の一番古い記憶は、最初の家のことだ。

この田舎の屋敷には、フランス窓のある2階建ての石造りの家があった。エンジニアが自分の家族のために特注で建てたものだった。エーカーの敷地には何百本もの松の木、リンゴ園、高さ70フィートの旗竿、1万ガロンのコンクリート製の池があった。池は木々や灌木、花々に囲まれた中庭の真ん中にあった。（前のオーナーはその池で5フィートのワニを飼っていた。私たちは1000匹の金魚に落ち着いた）。

私が覚えている最初の大きな達成は、ベビーベッドから這い出て、トイレに行き、トイレを使ったことだ。すべて自分で！自分でも感心したものだ。

私が話し始めたのは4歳のときだった。話す必要はなかった。私が指さすだけで、兄姉が欲しいものを何でも持ってきてくれた。

母は心配した。母は医者に見せた。先生の答えはこうだった：「心配しないで！この子が話し始めたら、決して黙らせることはできないよ」！- 確

かにその通りだった！

今日に至るまで、私は時々、自分が実はかなり寡黙であることを人に説明しなければならない。生まれつきの内気さを克服するために、無理に話さなければならないのだ。それゆえ、私は見かけによらずおしゃべりなのだ。これは理解できない。深刻な問題だ！

両親が言うには、私がようやく話し始めたとき、私は完全な文章で話したそうだ。偉大な弁論という人類の宝に対する私の初期の貢献には、次の2つがある：

お前の首を切り落として、黒目にしてやる！

旧世界と新世界の二重の影響を受けているのは明らかだ。

そして

私はあなたが嫌いだ！

父はこの強い言葉遣いを咎め、私を叱った。私は賢く言い直した：私はあなたが嫌いです！

私のベッドタイムストーリー

大恐慌の頃、私の家族はお金を持っていなかった。私が12歳の時、牛乳を飲むのを止めろと言われた。代わりにコーヒーを飲まなければならなかった。牛乳は高すぎた。弟たちのために牛乳を節約する必要があったんだ。

でも、子供の頃はとても楽しかった。狩猟や釣りをよくした。私の小遣いは弾薬で支払われていた。私が撃った獲物や釣った魚が食卓に上らない日はほとんどなかった。

私の父

私の就寝前の読み聞かせは、主に父の少年時代の冒険談から成っていた。これらの物語は少年を楽しませるだけではなかった。家族の感覚を植え付けたのだ。

彼の話にはしばしば他の親戚が登場し、その中には私が直接会ったことのない親戚もいた。私の大家族には、生きているものも亡くなったものも含め、近親者や先祖が含まれていた。これは、結束が固く、同じ民族性を

共有する私の肉親の両側にも当てはまった。

そのいくつかを紹介しよう。

私は2隻のヨットを持っていた。ひとつは特大のセイルを持っていた。とても速かった。でも回そうとするとひっくり返って、私を水の中に放り込んでしまう。だから私は湖を横切って飛び出し、ヨットを回して戻ってきた..... もう1隻のヨットは急旋回できた。速いボートと “キャッチボール” をすると、絶対に追いつけない。ギリギリのところで向きを変えて逃げるんだ。

あるとき、沼地でヘビを見つけたんだ。毒蛇だったので殺してしまった。後で後悔したよ。そのヘビは沼地の誰にとっても脅威ではなかった。蛇にも生きる権利があった。

ある時、友人と転校生と一緒に狩りに行った。転校生は私をバカにした：あそこにあるトマト缶に当たらないんじゃない？ 私は撃った。缶は動かなかった。ハッ！外れた！」と彼は嘲笑した。あの缶をもっとよく見たほうがいいよ。彼はそう言った。弾丸が当たっても缶が動かないほど、私は缶に正対していた。

あるカラスは賢かった。いつも私の22口径の射程圏外にいた。ある日、私は25口径を持参し、彼を釘付けにした。ところで、カラスは3匹まで数えることができる。もし2人のハンターがブラインドの後ろに行き、2人が去ったとしても、カラスはそこにまだ1人いることを知っている。しかし、4人入って3人出てきたら、カラスは混乱する。

おじいさんは結び方の専門家だった。不況の時代には、真っ暗闇のステー

ジのキャットウォークで複雑な結び方をして時給10ドルをもらっていた。

父は結び方もよく知っていた。今でも覚えているのは、カヌーを車の幌にくくりつけるときに使う「8の字結び」だ！言うておくが、私が幼かった頃、その結び方を覚えるのは簡単ではなかった。ウサギが丸太を飛び越えて穴に落ちるようなものだ。

子供の頃、映画館のチケットは5セントだった。別の子供と一緒に『オペラ座の怪人』を見に行ったことを覚えている。怪人がスクリーンに映し出されると、劇場にいた誰もが恐怖のあまり息をのんだ。私以外は。私は怖くなかった。その怪物は、私の大叔父のジョージを思い出させた。

彼は鍛冶屋で、地獄のように醜かったが、いい奴だった。彼の手は指が擦り切れるほどで、あなたや私の手が火傷するような熱い金属をつまんでも火傷しなかった。

彼は毎週金曜日の夜に酔っ払っていた。ある金曜日の夜、彼はいつものように酔っ払って縁石から車の前に飛び出した。即死だった。でも、いい方法だった。

もちろん、ルックスに関しては、私は家族の反対側を見習うつもりだ。“FW”こと私の父は、身だしなみについて語るとき、必ずしも外交的ではなかった。初めての新生児を見たとき、彼は「皮を剥いだリス」みたいだと言った。母は面白くなかった。

大伯母のライザは独身だった。誰かが彼女に手を出そうとした時のために、デリンジャーを持っていた。しかし、彼女はとても醜かったので、本当に必要なかった。とにかく、彼女は抜け目のない投資家だった。秘書として働いていただけなのに、生涯で何千ドルもの財産を築くことができた。

そのデリンジャーだけでなく、6バレルの“ペッパーボックス”や他の銃も覚えている。⁴ある19世紀半ばのフランス製リボルバーには撃針さえな

かった。撃針は弾丸に内蔵されていた！その弾丸は数個しか残っていなかった。後で知ったことだが、その弾丸は銃以上の価値があった。この遺産は祖父の代から半世紀続いた！彼は、自分が死ぬわずか1年前に、その最後の遺産を使い果たした。

私の父、つまりあなたの祖父は、農夫に沼地の真ん中の土地を浚渫させた。そこにコテージを建てたんだ。私たちはいつもそこで夏を過ごした。狩猟や釣り以外の大きな利点は、1920年代の間、近所に迷惑をかけずに大音量でパーティーができたことだ。時には大人が私たち子供を起こすこともあった！

朝、1階に降りると、まだ洗い流されていない木炭の絵が壁に描かれていた。

有名なボードヴィルや初期の映画スターたちも、こうしたパーティに来ていた。ある時、おばあちゃんの友人だったタフな老婦人が、映画でタフな男を演じることで有名な俳優を見下ろして、彼に挑戦した：「あなたはそんなにタフには見えないわ！おじさん」と言わせてやろうか？そして彼を床に押さえつけた。そして彼女は彼を床に固定し、彼が「おじさん」と言うまで立たせなかった」。

コテージ」よりもずっと大きかった！何年も後、かつての沼地一帯は、立ち入りが制限されたゲートッド・コミュニティとなった！

それに、私には有名な近親者もいれば、悪名高い近親者もいる。総支配人が私の机の前に新聞を置いた。私はそれをざっと見た。私とよく似た名前に赤いインクでアンダーラインが引かれていた。私は何気なくつぶやいた：もしかしたら、私のクレイジーな親戚の誰かかもしれない。その話題は二度と出てこなかった。

私たち家族の3世代が、3つの異なる戦争で、同じ小さな土地で、あるいはその土地で撃たれた。

その戦争とは、1870/1871年の独仏戦争、第一次世界大戦、第二次世界大

戦である。その一帯がアルザス・ロレーヌだった。私の母方の家系には、遠縁であることを知らずに戦場で殺し合ったとされる2人の近親者について、少々似たような話がある。

もちろん、人づてに代々語り継がれてきた話には、大目に見る必要がある。しかし、私はいくつかのことを確認することができた。

いずれにせよ、私たちの文化遺産の重要な一部であることに変わりはない。例えば、イースター・バニーは、明らかにフィクションであるにせよ、いい話だ。私たちが何度も自分の目で見てきたサンタクロースとは違う。

* * * * *

あなたの叔父は第二次世界大戦で多くの戦闘を経験した。彼はB-52爆撃機の上部砲塔砲手だった。戦争が終わって帰ってきたとき、おじいさんは彼のシープスキンのレザージャケットに穴が開いているのに気づいた。彼は息子をかみ殺した！なんであんないいジャケットに穴が開いたんだ！軍からもらったんだ。この暴言はしばらく続いた。最後におじさんが言った：父さん、悪かったよ。でも仕方なかったんだ。そこで撃たれたんだ！

彼は紫綬褒章を授与されたが、それを辞退した。彼は、他の選手はもっとひどい怪我をしていて、自分よりも勲章を受ける資格があると言った。

FWは私がまだ思春期だった頃、狩りに行くときにまだそのジャケットを着ていた。その後、彼はそれを「卒業」し、袖を切った！


NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION
Nummer 104 Eingeleitet 1975 26. April 2017 07:36

Der Kampf geht weiter !

Siehung Hitler nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung endlich abgeklungen in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!
Menschen von Völkern, Völkern, Völkern und Völkern haben nicht vergessen, dass Hitler der größte aller Völkerverhetzer Adolf Hitler ist.

Alle Nationalsozialisten und sonstige aktiver Völkern und Kampfbewegungen sollen Hitler an Leib und Leben zur Erfüllung seiner weisen Völkern.
Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Gefahr des biologischen Völkern ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Ein verurteiltes Gegenstand ist also dabei, das Volkstum - gegen alle Völkern () - zu kämpfen, sein Volk und seine Erbschaft, Überlieferung und Erinnerung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Straßenkampf, ob im Propagandakrieg, bewaffnet oder auf einem Schlachtfeld anderer Art: Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!
Gottfried Lück


TROTZ VERBOT NICHT TOT !


N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したもので、
です。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningtheancient.com/truth.html) に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の増量です。1つのことについて情報を集めても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、理も




the NEW ORDER
Number 176 (2022) Founded 1975 April 26, 2022 07:36

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.
Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the word of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.
All National Socialists and other racially-aware counterforces and racial kinmen fight side by side for the preservation of our White folk.
The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.
The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.
Whether "legal" or "illegal", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!
Hitl Hitler!
Gottfried Lück


TROTZ VERBOT NICHT TOT !

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

**SS Defender
against Bolshevism**
by Reichsführer SS Heinrich Himmler

Translated from the SS Original

Julius Streicher: Der Rassen Krieger Buch
**The Poisonous
Mushroom**

Translated from the Third Reich Original
Der Giftpilz

Heinrich Heine
**Hitler
in Italy**

English / German Deutsch / English

SS Viewpoint - Vol. 9
Wife and Family


Theodor Fritsch
**The Sins of
High Finance**


Luftwaffe War Art
Die Luftwaffe im Bild

English - German / Deutsch - English

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org

**Contact us to
find out how
YOU can help!**